

(別紙)

令和4年度事業報告

■採卵経営をめぐる情勢

新型コロナウイルス感染症の感染拡大長期化やウクライナ危機、円安の進行に伴うエネルギー・穀物・生産資材価格等の高騰、さらには過去に類を見ない規模の鳥インフルエンザ発生により大きな影響を受けた1年となった。

鶏卵生産費で大きな割合を占める配合飼料価格の高止まりが経営を圧迫した。令和2年10月以降、米国産穀物の中国向け輸出の増加や南米産の作況悪化懸念等により、シカゴ相場は上昇し、配合飼料価格も上昇した。以降もウクライナ危機を受け、シカゴ相場が上昇したこと等を背景に配合飼料価格の高止まりが続いた。このような状況を受け、令和3年第1四半期においては配合飼料価格安定制度の通常補填が発動するとともに、8年ぶりに異常補填が発動した。続く第2四半期から令和4年度第3四半期まで、通常・異常補填ともに発動する事態となった。その他、運賃や人件費などの諸経費の値上がりで生産コストの高騰が続いた。

高病原性鳥インフルエンザの発生についてみると、令和4年10月28日、岡山県での過去最速の発生を皮切りに、26道県84事例、総殺処分羽数約1,771万羽と過去最大の殺処分羽数を数え、経営を左右しかねない重大な脅威となり続けた。

一方で、東京市場における鶏卵相場は1kg当たりのM基準値(月平均)において4月に211円でスタートし、5月以降は新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置による営業制限が解除されたこと等から、業務用をはじめたまごの需要が回復傾向となり、例年を上回る水準で推移した。その後、鳥インフルエンザの多発によって、10月以降は鶏卵相場が急騰し、令和5年3月は平成以降の最高値を32年ぶりに更新する343円を記録した。

このように鶏卵相場は高水準で推移したものの、それは配合飼料価格の高止まりで自主減産をしていた中、鳥インフルエンザ多発により飼養羽数の1割強が殺処分されたことによる急激な供給減少や、コロナ禍でも伸びた鶏卵輸出等による需給バランスの崩れが原因であり、必ずしも生産コストを価格転嫁できた訳ではない。

また、この鶏卵相場急騰によって卸売価格と相場価格の乖離が大きくなり、小売店との価格交渉を繰り返すこととなった。スーパーなどの小売店における卵売場から卵が消える異常事態は未だに続いており、その結果、卵の代替商品の増加や外食産業における鶏卵使用量の減少など、消費面でも新たな問題が出始めた。

このような状況の中、個々の経営では解決できない問題に対し、団体での組織的な活動を行うことが求められた。

そうした情勢を踏まえ、昨年度具体的に展開した諸活動は以下のとおりである。

(1) 第56回通常総会

日 時：令和4年6月23日(木)

議 事：第1号議案 令和3年度事業報告に関する件

第2号議案 令和3年度収支決算および監査報告に関する件

第3号議案 令和4年度事業計画に関する件

第4号議案 令和4年度収支予算および会費の徴収に関する件

(2) 役員会・正副会長会議等

1) 第1回正副会長会議

日時：令和4年5月13日(金)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：令和4年度総会提出議案・6月セミナーについて など

2) 理事会

日時：令和4年6月10日(金)

内容：総会議案について など

※書面決議

3) 第2回正副会長会議

日時：令和4年8月24日(水)

方法：現地参集

内容：9月セミナー・今後の事業計画、農林水産省食肉鶏卵課長との
意見交換など

4) 第3回正副会長会議

日時：令和4年11月8日(火)

方法：現地参集

内容：12月セミナー・農林水産省食肉鶏卵課からの情報提供など

5) 第4回正副会長会議(臨時)

日時：令和4年12月22日(木)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：農林水産大臣への要請について など

6) 第5回正副会長会議（拡大）

日時：令和5年2月2日（木）

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：3月セミナー・次年度活動・農林水産大臣への要望について など

(3) セミナー・研究会等の開催

1) 6月セミナー

日時：令和4年6月23日（木）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：55名

内 容：

◆基調講演

「養鶏産業と地域づくり～エコノミックガーデニングによる地域活性化～」

拓殖大学 政経学部 教授 山本 尚史 氏

◆飼料セミナー

①「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長兼営業部長 高杉 庄太郎 氏

2) 9月セミナー

日時：令和3年9月14日（水）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：51名

内 容：

◆斃死鶏発見システムに関する各社からの情報提供

ヨシダエルシス株式会社、東西産業貿易株式会社、株式会社ハイテム、
NECソリューションイノベータ株式会社

◆飼料セミナー

①「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物課課長補佐 尾上 翔太 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長兼営業部長 高杉 庄太郎 氏

3) 12月セミナー

日時：令和4年12月22日（水）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：58名

内容：

◆鶏糞セミナー

①「鶏糞堆肥の特徴や使い方

～近隣の耕種農家に活用してもらうには～

技術士事務所 Office FUJIWARA 代表 藤原 俊六郎 氏

②「畜産環境をめぐる情勢」

農林水産省 畜産局畜産振興課環境保全班 係長 日高 知保 氏

◆人材採用セミナー

「労働市場における農業の位置づけ

～農業分野に興味を持ってもらうには～

株式会社マイナビ地域活性 CSV 事業部

農林水産ジョブアス事業統括部 営業部長 佐々木 康人 氏

◆飼料セミナー

①「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 萩原 伸之介 氏

②「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 取締役本部長 高杉 庄太郎 氏

③「カロテノイドに関する賛助会員からの情報提供」

株式会社 DSM

アジア環太平洋地区テクニカルマーケティングマネジャー

DSM ニュートリショナル プロダクツ アジアパシフィック

早川 岳彦 氏

4) 第52回全国農業経営者研究大会養鶏分科会（弊会主催）

日時：令和5年2月2日（木）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：40名

内容：

①「物流の2024年問題」

公益社団法人全日本トラック協会 役員待遇企画部長 星野 治彦 氏

②「鶏卵の消費促進について」

株式会社愛鶏園 代表取締役会長 齋藤 大天 氏

5) 4月セミナー（3月→4月に変更）

日時：令和5年4月11日（火）

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：73名

内容：

◆ワクチン入門講座

全国養鶏経営者会議 会長 宮澤 哲雄 氏

◆飼料セミナー

①「配合飼料について」

株式会社ゼンケイ 営業部 課長 岡村 こゆみ 氏

②「飼料価格の最新動向」

兼松株式会社 穀物飼料部穀物課 萩原 伸之介 氏

◆鳥インフルエンザワクチンセミナー

①「まだまだできる衛生管理と鳥インフルエンザワクチンの問題点」

北海道大学大学院 獣医学研究院・獣医学部 教授 迫田 義博 氏

②「鳥インフルエンザワクチンの新しい知見」

株式会社アキタフーズ 獣医師・技術顧問 水村 芳弘 氏

③「高病原性鳥インフルエンザ対策について」

農林水産省 消費・安全局 動物衛生課 課長補佐 加茂前 清尚 氏

(4) 青年部

1) 第1回役員会

日時：令和4年4月28日（木）

方法：現地参集

内容：今後の青年部活動について など

2) 第2回役員会

日時：令和4年6月3日（金）

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：今後の青年部活動・現地研修会・JA全農たまごと農林水産省食肉鶏卵課との意見交換について など

3) 現地研修会

日時：令和4年10月11日（火）～12日（水）

場所：長野県

参加者：32名

内容：

◆ 1 日目

「平飼い農場、自家配合飼料施設等の見学」

農事組合法人会田共同養鶏組合 中島 学 会長理事

上村 博文 組合長理事

◆ 2 日目

「6次産業化の取り組みや直売所見学」

有限会社ブラウンエッグファーム 滝沢 栄喜 代表取締役

4) 第3回役員会

日時：令和4年11月11日(金)

方法：現地参集

内容：春季セミナー企画・下半期の活動について など

5) 第4回役員会

日時：令和5年3月23日(木)

方法：現地参集・WEB併用方式

内容：次年度の活動について など

6) 若い養鶏経営者のための春季セミナー

日時：令和5年3月23日(木)

方法：現地参集・WEB併用方式

参加者：

内容：

①「養鶏経営における事業承継・自社株対策」

株式会社ビジコネクスト 代表取締役社長 根本 雅之 氏

②グループディスカッション

テーマ：強い組織づくりを目指して

◆それぞれの経営における組織づくり・マネジメントの課題を共有

・議論することを通じ、強い組織づくりのヒントを学んだ。

(5) 情報活動

「全鶏FAXつうしん」を中心とした情報提供 78回

※希望者にPDFファイルでメールやFAXを送信した。

(6) 研究・調査活動

- 1) 飼料価格実態調査 (4回)
4－6月期、7－9月期、10－12期、1－3月期
- 2) 卵の需給状況調査 (6回)
- 3) たまごの価格転嫁交渉の実態調査 (2回)
- 4) 鶏糞調査 (1回)

(7) 各種団体との検討会等

- 1) 一般社団法人日本養鶏協会、鶏卵輸出部会などとの各種打ち合わせ
- 2) 株式会社ゼンケイ (特別賛助会員) との意見交換、情報交換
- 3) 農林水産省生産局食肉鶏卵課との意見交換
- 4) 農林水産省消費安全局動物衛生課との意見交換